

## 日本食品工学会 2023 年度受賞候補者募集要項

日本食品工学会は、2023 年度学会賞・技術賞・研究賞・奨励賞・産学官連携賞候補者に対する本学会会員からの推薦を次の通り受け付けます。自薦・他薦ともに受け付けますので奮ってご応募下さい。なお、論文賞については、編集委員会から候補論文の推薦を受けて選考する方式のため、募集対象外とします。

1. 学会賞・技術賞・研究賞・奨励賞・産学官連携賞の各賞については、様式 1 による受賞候補者推薦書を、2024 年 1 月 31 日(火)(消印有効)までに本会事務所宛提出する。なお、様式 1 は本会ホームページ (<http://www.jsfc.jp>) からダウンロードできる。
2. 学会賞・研究賞・奨励賞については原則として 1 名を、技術賞・産学官連携賞については原則として 3 名以内(役割分担を明記)を同一業績題目の下で推薦できる。
3. 上記1および2により推薦を受けた候補者は本会事務所宛、様式2による業績書 7 部および参考資料(論文・特許等の別刷りの PDF を 5 編以内)を 2024 年 3 月末日までに学会事務所にメールにより提出する。
4. 賞の性格ならびに受賞者の資格等については本会の授賞規定に従い、本年度は次のように定める。
  - 4.1 学会賞は、食品工学の学術的な発展に特別な貢献のある業績をあげた者に授与する。
  - 4.2 技術賞は、食品工学に関する産業活動の発展に特別な貢献のある業績をあげた者に授与する。
  - 4.3 研究賞は、食品工学に関する分野における特別な貢献のある業績をあげた者に授与する。
  - 4.4 奨励賞は、**食品工学の進歩に寄与する優れた研究を行い、なお将来一層の発展が期待される者に授与する。**
  - 4.5 産学官連携賞は、企業が大学・公的研究機関等との連携により、食品工学の発展に貢献のある業績をあげた共同研究に参画した者に授与する。
5. 受賞候補者は、原則として本会正会員または学生会員とする。ただし、技術賞・産学官連携賞については、本会維持会員・団体会員である団体に所属する者も対象とする。
6. 各賞の受賞対象研究は、その研究内容(またはその一部)が日本食品工学会誌に掲載(または掲載予定)されているか、日本食品工学会年次大会で研究発表されていることが望ましい。

[送付先] 〒194-0032 東京都町田市本町田 2087-14

日本食品工学会授賞選考委員会 宛

## 日本食品工学会2023年度受賞候補者推薦書

1. 賞の種別：
2. 受賞候補者の氏名・所属・職名・連絡先（宛先；電話；Fax；E-mail）：
3. 業績題目：
4. 推薦理由（200字程度）：
5. 受賞候補者の業績と本会との係わり（100字程度）：

----- キ リ ト リ -----

6. 推薦者の氏名・所属・職名・連絡先（宛先；電話；Fax；E-mail）：
--

(註) キリトリ線以下を事務所で切り取って授賞選考委員会に渡すこと。授賞選考委員会は推薦者についての情報をいっさい知らされずに選考する。

## 日本食品工学会受賞候補被推薦者業績書

1. 賞の種類
2. 氏名・生年月日・所属・職名・会員種別（候補者全員について；会員種別については、会員資格の申請あるいは変更を手続き中の場合はその旨記入）
3. 代表者連絡先（宛先；電話；Fax；E-mail）
4. 業績題目
  - 4.1 推薦された業績題目
  - 4.2 被推薦者が選んだ業績題目（推薦された題目と異なる題目への変更も可）
5. 略歴（学歴・職歴）（候補者全員について）
6. 過去の受賞歴（本学会に限らずこれまで受けた全ての受賞を記入）（候補者全員について）
7. 業績の概要（2000字以内）

〔産業界の会員であって技術的な賞に関して推薦を受けた場合には、業績の概要の中に、表彰の対象となった業績が社会・産業界（所属する企業の中を含める）へ如何なる波及効果を持ったものであったかを具体的に記入〕
8. 業績題目に関する主要な論文等の発表状況（著書・学术论文・特許・実用新案・その他論文の中から、学会賞は30編以内、研究賞は20編以内、技術賞・奨励賞・産官学連携賞は10編以内）
9. 業績題目に関する発表状況（学術集会における口頭またはポスター発表・講演会・ワークショップ・講習会等を含む20編以内。ただし、奨励賞については10編以内）
10. 日本食品工学会における発表（論文、年次大会等における発表を含む20編以内）

なお、上記 8, 9 の中から重要なもの 5 編以内を選び、その別刷りまたはコピーを各 7 部添付すること。